

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



歌声は集団の質をあらわすバロメーター！

歌声には、その時の一人ひとりの気持ちの状態や、集団の中の仲間関係の様子、学級の状態なんかがすぐにあらわれる。言い換えると、歌声はそのことを自分らにすぐに教えてくれる。大切なのはそれに気づくか！感じられるか！考えられるかだ！そして、本気の話し合いをして、変わるかだ！もっと言うと、自分中心の感情や心の浮き沈みじゃなく、一人ひとりが常に「最高の自分」をその場に、その瞬間に差し出す覚悟と強さを持てるかだ！信は力なり！「相手への期待ではなく自分への決意を固めた仲間」としてみんなが集まったとき、きっと心が震え、自分だけが感じれる最高の瞬間を味わうことができるだろう。だから「歌声は集団の質をあらわすバロメーター」なんだ。築いたつもりの絆のもろさに何度も打ちのめされながら、さらに強い絆を求めて立ち向かうのが絆づくり！歌声づくりこそ絆づくりだ！頑張れ～、一中生。熱くなれる瞬間を絶対にのがすな！



失敗を怖れるな
真知がないことを怖れよ

「振り返り」と「気づき」を大切に！

短学活の質をどれだけ高めることができるかが、学級づくりの命である。そのために一中では各学級の短学活を公開し、先生たちで研修を深めています。短学活公開を参観すると、班で顔を寄せ合って班会議をするみんなの姿がとっても良い。すごく良くなってきています。ここから先大切なのは「振り返り」と「気づき」です。授業のこと、掃除のこと、テストのこと等々、毎日班会議で話しているだろうけども、みんなが帰った後の校舎や教室、移動教室で空になった教室には「振り返り」どころ・「気づき」どころがいっぱいです。そして、スタートした文化祭の取組においてはさらに満載でしょう。「振り返り」と「気づき」どころを絶対にのがさぬように！班は学級の命！班会議は班の命！だから、やっぱり短学活は「鍛」学活でなければならない！

- 班活動の様子に注目して拝見しました。どの学年もかなり身につけている感じを受けました。小さなつぶやきで疑問発言し、答え合う様子、自然でした。
- 5 時間目、試験後にもかかわらず、特に数学のクラス真剣でした。面白い班活動の取り入れ方でした。いいなあ！ありがとうございました。
- 楽しく学んでいてよいと思いました。
- 子どもたちの様子、これがいつも通りの雰囲気だろうと思え、良かったです。
- 初めて来ました。クラスが仲良さそうで安心しました。子どもたちからも声をかけてもらいました。楽しそうに学ばせてもらっているなーと感心しました。見学の方がもっと来てくれると子どもたちのモチベーションが上がってよいかもしれませんね。

授業公開ウィークの参観者の感想です。小学校運動会の延期等もあつたか参観者数は少なかつたものの、このような温かい言葉をいただきました。一中は、これからも人に見られることを通して、どんどん成長していこう！

頑張ってますー一中生！

市内野球新人大会祝・優勝！
各部とも県大会頑張れ～。



県大会出場権をかけた市内野球新人大会で、野球部が13対6で見事優勝！おめでとう。そして、県新人大会が9/29からスタートし、水泳2年200m個人メドレーと100mバタフライで若林繭子さんが第3位、1年100m背泳ぎで田中玲くんが第3位。素晴らしい。また、国民文化祭では皇太子ご夫妻を前にして樫の実少年少女合唱団が素晴らしい歌声を披露し、開会式の様子はテレビでも放送されました。すごいね～。さらに、「介護の日」ポスターコンクールで3年丸木萌絵さんが銀賞を受賞し、11/2～5の間ホルトホール1Fにて作品が展示されます。